

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公

討議年月日:令和 4 年 3 月 25 日

公表:令和 4 年 3 月 28 日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスGlanz

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	児童発達支援と放課後等デイサービスで分かれたスペースになっている	間仕切りなどで仕切っている部分がある為、満員の際は少し狭く感じる。必要に応じて空間配置を考え対応していく。
	2 職員の配置数は適切である	5		人員基準に沿って配置している。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	2		バリアフリー化ではないが、適切な支援を行えば問題はない。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2	全体ミーティングを月2回行い、新しいアイデアを取り入れられていると思	目標設定はできているが振り返りが徹底できていない為今後は振り返りの徹底も含め実施していく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		年に1度の評価表や日々の観察から意向を把握し、朝礼時やミーティングで話し合い改善に繋げるようにしている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		年に1度必ずできしており、ホームページ等で公開してい	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3		必要に応じて取り入れるようにしていく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	外部研修などに参加している。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		子ども、保護者のニーズや課題などの情報を基に計画を作成している。	
適切な 支援の 提供	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5		利用者が楽しく参加できるよう日々職員同士で話し合い全職員で提案を行っている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		癖りや重複がなるべく起こらないように注意して様々なジャンルを取り入れながら全職員でプログラム構成を行っている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1	個人に合わせた課題を基に支援している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	5		子どもの状況に応じて計画を作成している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	毎日朝礼を行い打ち合わせをし、共有事項の確認をしている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	終了後に打ち合わせはできていないが毎日の朝礼や共有アプリを通して確認、共有を行っている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		連絡帳の複写や共有アプリで記録として残し、振り返りを行い支援の検証や改善に繋げている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1	全職員で定期的にモニタリングを行い、計画の見直し判断をしている。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	5			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1	管理者や利用者担当者が中心となって参加をしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5		日々、電話や保護者様を通して行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4		現在医療的ケアが必要な利用者様はいませんが、今後必要になった場合には連携した支援が行えるように努めていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	4		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	4		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		5		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	4		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		連絡帳や送迎時に状況をお伝えするようにしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	4		現在は行っていないが、ペアレント・トレーニングなどの支援も検討できたらいいと感じる。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1	契約時にしっかりと丁寧に説明するように心がけている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		子育ての悩みなどがある場合は電話連絡をしたり施設に来所して頂いたりして話し合いの場を設けている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4	活動内容により親子体験などを実施して交流を図っている。	必要に応じて保護者同士の連携の場を取り入れていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		苦情があった場合には迅速に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		紙面やSNSなどを通じて情報発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	5		個人情報保護に基づいて十分に注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	昨年10月に実施した。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2	マニュアルの作成はされており、職員には周知している。	親御様への周知はできていないので今後親御様にもきちんと周知し、対応していける体制を整えていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		月に1度活動に取り入れて、必ず避難訓練を実施して	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	3		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	3		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	利用開始時に必ず確認をとり、対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	ヒヤリハットについては事業所内で共有する為、記録として残している。	